



オンライン開催あり

彩の国さいたま人づくり広域連合

令和4年度 産民学官・政策課題共同研究 研究員募集

当広域連合では、県・市町村・企業・NPO及び大学等の協働による「産民学官・政策課題共同研究」を実施しています。県や市町村が直面する政策課題について、産民学官それぞれの主体が持つ人材や情報、ノウハウ等を活用し組み合わせることで、地域課題の解決に役立つ実践的な政策提言を行います。ぜひご応募ください！

研究テーマ

ナッジ理論を活用した政策づくり

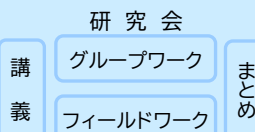
人口減少・少子高齢化に加えて、感染症を契機とした新たな社会変革が進む中で、社会課題はますます複雑多様化しています。課題の本質を捉えた効果の高い取組を行うためには、人々の関心・行動を想定した政策立案が求められます。

ナッジ理論は、人の普遍的な行動特性を対象とするため、人が介在するあらゆる政策分野に適用可能で、行政分野によっては課題解決に効果的なツールになると考えられます。そこで本研究では、社会課題を解決する手段としてのナッジ理論の有用性を考察し、実際にいくつかの行政分野で抱えている課題を解決するためのナッジ理論を活用した政策提言を行います。

ナッジとは？

「nudge」は英語で「軽くひじ先でつつく、背中を押す」こと。お店のレジ前の床に足跡を見たことありませんか？思わずその上に並んでしまうことで、結果として、列が乱れず並べるようになっている…。そう、これもナッジです！

研究の流れ

R4年5月～R5年1月
(毎月1回程度)R5年
1月

成果発表会

R5年
3月

報告書発行

コーディネーター

たかはし つねお

高橋 恒夫 氏 地域カッセイ人プロデューサー REGIONAT (長野市) 主宰

【略歴】

横浜市立大学卒業、事業構想大学院修士課程修了。

八十二銀行、長野経済研究所、日本経済研究センターでの調査研究活動を経て、2021年独立。

長野県内 6 市町村の総合戦略等作成支援に携わる。また、ひたちなか市、島根県美郷町への地域政策提言にも参画。



～コーディネーターからのメッセージ～

個人や社会にとって望ましい方向に導く工夫、それがナッジです。ナッジは、私たちの身近なところに溢れていますが、ナッジを賢く役立てているかどうか判断するのは意外と難しいもの。

研究会では、良いナッジ、悪いナッジの事例をみながら、公共政策に取り入れることができるアイデアをみなさんと一緒に考えていきましょう。

申込方法等

対 象 政策研究に関心のある方、産民学官の協働に関心のある方、地域課題の解決に熱意のある方など。
※職位・職種による制限はありません。

服 務 研修扱い(職務命令)

開催方法 集合開催を基本としますが、オンライン開催も併用する予定です。

募集人数 20名程度 ※申込多数の場合は調整させていただく場合があります。

申込期限 令和4年5月9日(月)必着

申込方法 電子メールにて以下の「問合せ先」までお申込みください。

【問合せ先】 彩の国さいたま人づくり広域連合 企画・政策研究担当

電話:048-664-6685 電子メール:jinzai03@hitozukuri.or.jp

